マテリアリティに対する取り組み

重要課題（マテリアリティ）	ESG分野	ステークホルダー					主なステークホルダー	主な取り組み	2024年度目標（KPI）	2022年度		関連するSDGs
		従業員	お客様／仕入先様	投資家／株主	社会	未来の子どもたち				実績	主な活動実績	
脱炭素に向けた気候変動への対応	E	○	○	○	○	◎	未来の子どもたち	バリューチェーン全体での CO_2削減の検討 再生可能エネルギー活用の検討	CO_2排出量削減率　15%以上 （対2013年度比）	12%	新規設備建設においてトップランナー基準の装置導入 金沢研究所空調設備の総入れ替え 本社移転	
排水および廃棄物の管理	E		○	○	◎	○	社会	資源再利用の積極的活用	再資源化率　25%以上	20%	溶剤の回収再利用・設備洗浄の見直し 廃油ボイラーの設置に向けて、装置の設計中	
水資源の確保	E		○	○	○	◎	未来の子どもたち	水使用量の削減	水使用量の現状維持 （対2019年度比　+5%以下）	-1.6%	地下水くみ上げ量の監視と維持	
エコ製品の売上拡大	E		○	○	○	◎	未来の子どもたち	環境にやさしい 事業形態へのシフト	環境配慮型製品の生産量 （対総生産量　15%以上）	8.9%	バイオマス由来の原料または リサイクル原料を使用したアクリレートの拡販	
環境コンプライアンスの徹底	E		◎	○	○		お客様／仕入先様	各国、地域における 環境関連の法規制遵守	化学物質関連の法令遵守		JIS改正に伴う安全データシート（SDS）の改訂（完了）。労働安全衛生法の改正に伴う製品含有化学物質の調査。	
環境コンプライアンスの徹底	E	○			◎		社会		PRTR排出量削減率　60%以上 （対2019年度比）	19%	物質収支によるロス量の把握・監視 VOC燃焼装置の設置計画中	
人材確保と育成	S	◎			○		従業員	大阪有機の知名度アップ	エントリー母集団形成　10%UP （対2018年度比）	97.0%	高分子学会・大学主催の合同企業説明会へ 積極的に参加	
人材確保と育成	S	◎			○		従業員		入社3年後定着率　100%	89%	一部の部署で入社1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月の面談を継続	
人材確保と育成	S	◎					従業員	人材育成の充実	研修に対する受講満足度 3.5点以上／5点満点［エンゲージメント］	2.99点	階層別研修を必須科目と選択科目に分離し、受講希望者が自由に受講できる制度を開始した。その結果、選択科目の延べ受講者数は239名であった。	
人権の尊重	S	◎	○	○	○		従業員	ハラスメント対策 情報・価値観の多様化対応	コンプライアンス教育 受講率 100%（毎年実施）	100%	講師として弁護士を招き、指導層と一般層に分けて計8回の研修を実施した。受講者全員が受講レポートを提出した。	
安全で働きやすい職場づくり	S	◎					従業員	健康経営の推進 ワークライフバランスの推進	エンゲージメント・サーベイ結果 快活型組織　B判定 （上位10%～30%）	C判定 （上位30%～45%）	エンゲージメント・サーベイ実施	
安全で働きやすい職場づくり	S	◎					従業員		1人当たりの売上総利益　50%UP （対2019年比）	27.1%	不採算品目の収益改善等（製品の統廃合等）	
安全で働きやすい職場づくり	S	◎					従業員		（働きやすさ） 有休取得率　70%以上	59.1%	交替勤務者でも有給休暇を取得しやすい 新たな交替勤務制度のテスト運用を行った。	
安全で働きやすい職場づくり	S	◎					従業員		（働きやすさ） フレックス勤務導入率 （交代勤務者を除く）	59.2%	制度の周知により、幅広く浸透した。	
安全で働きやすい職場づくり	S	◎			○		従業員		（健康）健康経営優良法人 取得	取得	ウォークラリーの参加	
安全で働きやすい職場づくり	S	◎			○		従業員		（安全）休業災害ゼロ/毎年	2件		

◎ 主要なステークホルダー
○ 関係するステークホルダー

マテリアリティに対する取り組み

重要課題(マテリアリティ)	ESG分野	ステークホルダー					主なステークホルダー	主な取り組み	2024年度目標(KPI)	2022年度		関連するSDGs
		従業員	お客様/仕入先様	投資家/株主	社会	未来の子どもたち				実績	主な活動実績	
人材の多様性	S	◎		○	○		従業員	ダイバーシティに向けた取り組み	中途採用比率の向上　20%以上	29.4%	中途採用掲載回数の増加 派遣からの正社員登用	5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も
		◎		○	○		従業員		管理職に占める女性の割合 10%以上(2026年度目標)	2.4%	社長とのランチ懇親会を行い、職場で困っていることなどの意見交換会を行った。	
		◎		○	○		従業員		「育児休業」または育児を目的とした「育児特別有給休暇」の取得率向上 20%以上(男性)	100%	男性従業員の出生者数:8名 ・育児休業取得者:1名 ・育児を目的とした特別有給休暇取得者:7名	
CSR調達			◎		○		お客様/仕入先様	CSR調達の構築	当社CSR調達ガイドラインへの賛同率 80%以上(購入金額ベース)	84%	購入金額上位メーカーに同意書送付および回収	12 つくる責任 つかう責任 17 パートナーシップで目標を達成しよう
原材料の管理			◎		○		お客様/仕入先様	主要製品原料の安定調達	供給リスクの把握 (製造場所、供給元マップ)		・複数購入化に向け重要原料選定、サンプル評価実施 ・製造元、供給元マップ作成のための重要原料のリストアップ	
事業所のある地域への貢献		○		○	◎		社会	地域との継続的交流	社会課題の解決に向けた地域との活動件数　3件/月以上	4件/月	新型コロナウイルス感染拡大予防に配慮しつつも、地域とのコミュニケーションが活発化しており、積極的に地域との交流を推進	11 住み続けられるまちづくりを
ステークホルダー・エンゲージメント		○	○	◎	○	○	投資家/株主	サステナビリティを軸とした対話の促進	社会のサステナビリティに向き合うことで存在価値を発揮している (定性目標)		サステナビリティを意識した各ステークホルダーとの対話の促進	17 パートナーシップで目標を達成しよう
安心で快適なくらしへの貢献		○	○	○	◎	○	社会	事業活動による社会貢献意識の向上	新製品売上高比率　10% (過去4年累積)	12.1%	半導体用材料、 表示用材料の需要増加への対応	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナーシップで目標を達成しよう
サステナビリティ・マネジメント	G	○	○	○	○	◎	未来の子どもたち	価値創造による社会課題の解決			非石化原料を用いた バイオマスアクリレートの新規開発	
コーポレート・ガバナンスの充実		○	○	◎	○		投資家/株主	経営の透明性向上と経営システムの効率性向上	重大な法令違反件数　0件/年	0件	法令遵守意識の徹底	
				◎			投資家/株主		CGC準拠率　100% (より高いガバナンス水準を備える)	97.6%	機関投資家とのESGミーティング実施 政策保有株式の削減	
事業リスクのマネジメント			◎	○	○		お客様/仕入先様	リスクマネジメント体制構築	認識リスクの顕在化に伴う業績修正の発生　0件/年	0件	重点リスクの設定および対策案開示 (有価証券報告書)	
企業倫理と誠実性の追求		◎	○	○	○		従業員	経営理念の浸透	経営理念の浸透度　4.0以上	3.4	エンゲージメント・サーベイ 項目と経営理念紐付け、数値化	

◎ 主要なステークホルダー
○ 関係するステークホルダー

その他、ESGデータの詳細はホームページに掲載しています。

「データで見る大阪有機」
https://www.ooc.co.jp/csr/data/

「ESGデータ集」
ガバナンス(G)データ
https://www.ooc.co.jp/csr/data/pdf/esg_governance.pdf?ver=1

環境(E)データ
https://www.ooc.co.jp/csr/data/pdf/esg_environment.pdf?ver=2

社会性(S)データ
https://www.ooc.co.jp/csr/data/pdf/esg_society.pdf?ver=2